

本がいっぱい！



Teen's 2024



『ハーベスト』《YF8》

花里真希／著 講談社

人と話すことが苦手な中学生の朔弥は園芸部に入った。部員は朔弥と、一匹狼の西森、日本の文化に馴染めない帰国子女のアズサの三人。バラバラだった三人は力を合わせて植物を育てていく。朔弥は部活に自身の居場所を見出していくが、他の部員がどう思っているか不安になり…。



『クルックヘイブン』《F7》

J. J. アルカンジョ／著 橋本恵／訳 理論社

十三歳のガブリエルは、生活に足りない分の金をスリで稼いでいた。ある日、ガブリエルは見知らぬ男性から「きみの才能を活かせる場所がある」とメッセージをもらう。指示された駅を降りたどり着いたのは、犯罪者や詐欺師、泥棒のための学校「クルックヘイブン」だった！

TOKOROZAWA CITY LIBRARY

所沢市立所沢図書館



『きみの話を聞かせてくれよ』《FM》

村上雅郁／作 カシワイ／絵 フレーベル館

1年ぶりに同じクラスになったあの子は、まだ私のことを避けている。友情って何？ボーイッシュ女子とスイーツ男子。自分らしく生きるってどういうこと？人がなんて言おうと関係ないなんて言えない。人に何か言われるのはつらいから。そんな中学生たちの7つの物語。

『パップという名の犬』《FL》

ジル・ルイス／作 さくまゆみこ／訳 評論社

子犬のパップは、置き去りにされた横丁で捨て犬達の仲間に入る。野良犬として生きのびるルールを学んでいくが、頭に浮かぶのは、家で一緒に寝ていた男の子のこと。パップは再び男の子に会うことは出来るのか？



『虹色のパズル』《F7》

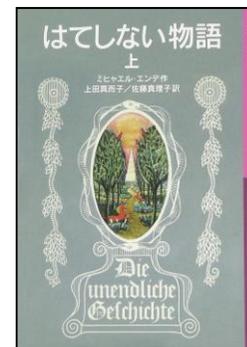
天川栄人／作 トミイマサコ／画 文研出版

琴子は両親から「ふつうの女の子」になることを求められて、生きづらさを感じていた。そんな琴子は夏休みの間、おじの圭一郎の家に行くことになる。圭一郎に会ってみて、琴子はびっくり。圭一郎は、派手な女装でパフォーマンスをするドラッグクイーンだったのだ！

『はてしない物語 上・下』《YF1》

ミヒヤエル・エンデ／作 上田真而子／訳
佐藤真理子／訳 岩波書店

バスチアンが古本屋から盗み出した一冊の本。その物語の世界は原因不明の「虚無」に襲われ、滅亡寸前だった。この危機を救うべく立ち上がった勇士アトレユ。そして、もうひとりの勇士は、なんとバスチアンだった！



『優等生サバイバル』 《Y F7》

ファンヨンミ／作 キムイネ／訳 評論社

進学率が高い高校に通うジュノは俗にいう“優等生”。けれどその椅子はいつ誰に奪われるか分からない。テスト、課題、進路、SNS、恋。青春はままならないことばかり。憂鬱な世界で生き残るためにジュノが見出した法則とは…。



『「オードリー・タン」の誕生』 《28.9》

石崎洋司／著 講談社

ITの天才であり、トランスジェンダーを公表した若き台湾の大臣「オードリー・タン」の伝記物語。生まれつき重い心臓病をかかえ、ギフテッドゆえに苦しみ小学校では不登校。学校や社会の考え方に絶望し、死を考えたオードリーはどのように希望を取り戻していったのか。



『ホビットの冒険 上・下』 《Fト》

J.R.R. トールキン／作 瀬田貞二／訳 岩波書店

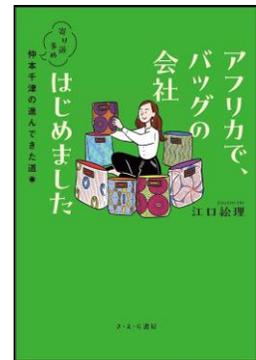
冒険なんかとは全く縁がないと思っていた、ホビット族のビルボ。ある日、魔法使いガンダルフによって、ドワーフたちの竜退治に巻き込まれてしまう。竜に奪われた宝を取り返すべく、荒れ地の国へ、さあ出発！

続きの長編作『指輪物語』も読んでみよう。

『アフリカで、バッグの会社はじめました』 《28.9》

江口絵理／著 さ・え・ら書房

千津さんは、「リッチーエブリデイ」というブランドの創業者。アフリカンプリントと呼ばれる綿の布でできたバッグを販売しています。小学生のころ医師になる夢を抱えていた千津さんは、どうしてこのビジネスを立ち上げることになったのでしょうか？



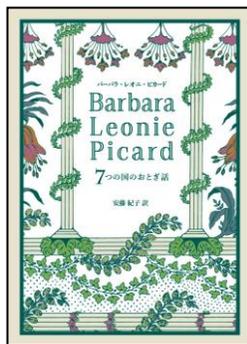
『バーバラ・レオニ・ピカード

7つの国のおとぎ話』 《Fピ》

バーバラ・レオニ・ピカード／作

安藤紀子／訳 洋洋社

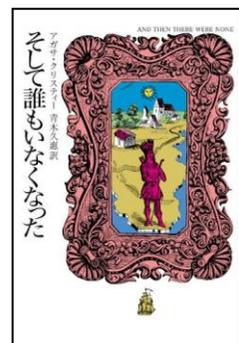
商人の娘3人が、暖炉のそばに座っていると、大きな炎が暖炉から吹き出し、炎のかなたの国の王が現れた。花嫁を探しているという王は、娘たちを国へ招待し…。(「炎のかなたの国」より) 王たちが幸せを見つける7つの短編集。



『ようこそ!富士山測候所へ』 《Y45》

長谷川敦／著 旬報社

日本の天気予報の精度を高めるために苦勞して建てられた「富士山測候所」。現在は、自動で観測できる技術が発達したこと無化されています。しかし、科学者たちの「富士山頂でしかできない研究をしたい」という思いから、夏の二か月間だけ、測候所を活用して研究をおこなっています。いったいどんな研究をしているのでしょうか？



『そして誰もいなくなった』 《Y Fク》

アガサ・クリスティー／著 青木久恵／訳 早川書房

さまざまな職業、年齢の男女10人に、オーエンと名のる男からインディアン島への招待状が届いた。しかし招待主のオーエンは現れず、突然不気味な声が、それぞれの過去を告発する。そして、古い子守唄に歌われたとおりの、ひとり、またひとりと殺されていく。

『私の職場はサバンナです!』 《Y48》

太田ゆか／著 河出書房新社

アフリカの「サバンナ」では、ライオンやキリン、シロアリなど野生動物たちが弱肉強食の世界で工夫しながら生き抜いています。「サバンナ」で働くサファリガイドが見た動物たちもつ魅力やそこで直面している環境問題とは？

